

□議員名：伊場 勇

1 本市に関わりのある方の功績に対して、市の対応や取組について

論点	市表彰条例により表彰対象者を決める表彰審査委員会は年1回1月に開催し、表彰式は翌月2月に開催していますが、功績を称えることに時間をかけず、早く表彰できる体制を作ることはできませんか。
回答	山陽小野田市表彰は、市における最上位の表彰であり、表彰審査委員会を設置せずに被表彰者を決定することは難しいと考えていますが、表彰条例以外の表彰制度を設けることについては、支障はないと考えており、別の制度を設けてスピード感を持って表彰するということは可能であると考えています。

論点	本市に関わりがあり、日本や世界で活躍されている方を称え、今後も関わり合い応援していく取組によって得られる効果についてどのように考えていますか。
回答	対象となる方のモチベーションの向上、本市に対するシビックプライドの醸成にもつながっていくものと考えています。また、その功績や活躍の内容を市の広報やホームページ等で広く周知することで、対象となる方や本市の知名度が向上し、市民の方々もその功績や活躍を知ることで、一緒に喜び、応援する気持ちを共有することができることから、本市へのシビックプライドの醸成につながっていくものと考えています。

論点	表彰の仕組みを新しいものに変え、「スマイルプランナー制度」とかけ合わせながら、本市の宝を効果的にまちづくりに活用するよう、いま一度制度をつくり上げる必要があるのではないですか。
回答	スマイルプランナー制度の枠組みをもう一度整理し、現在登録されている方々との市長を交えての情報交換会などの開催も検討していきながら、取組んでいきます。

2 ゴルフのまちとしての取組について

論点	本市への外国人旅行客は年々増えており、そのほとんどがゴルフ旅
----	--------------------------------

	行客です。本年も約1万人の旅行客が見込まれていますが、市はどのようにインバウンド対策を行うのですか。
回答	県と連携してインバウンド需要を取り組むため、商談会に参加するなどプロモーションの強化に努め「ゴルフのまち」として積極的なPRをしていきます。

論点	ゴルフ事業者の努力もあり、本市のゴルフ利用税交付金はここ数年6千万円から7千万円に推移しています。本市の特色であるゴルフに対してハード面、ソフト面の両面への支援が必要ではないですか。
回答	現在できる限りのPR活動をしていますが、今後、何をすべきなのか、ゴルフ場やゴルフ協会等と協議する中で検討していきます。

論点	「ゴルフのまち」を市内外に発信できる具体的施策として、看板を設置する考えはありますか。
回答	目立つ箇所に看板を設置することは効果的な手法と考えています。本市で行っているスポーツや芸術文化によるまちづくりの推進と比較し検討していきます。